

令和2年度 学校経営計画書

学校番号	74	学校名	静岡県立浜松湖南高等学校	校長名	牧田 恵
------	----	-----	--------------	-----	------

1 目指す学校像

(1) 教育目標

校訓「己の道に徹す」のもと、社会の有為な形成者として、真理を愛する、国際感覚を備えた、たくましい人間を育成するため、以下のような学校を目指す。

- ① 生徒にとって心身の成長を実感し進路実現を図ることができる学校
- ② 生徒、保護者及び教職員が安全・安心に教育活動に取り組むことができる学校
- ③ 地域において国際交流や異文化理解・多文化共生教育を推進する拠点となる学校

(2) 目標具現化の柱

ア 生徒の主体的な学習態度と進路決定意識の育成により、学力の向上と進路実現を図る。(①)

イ 新しい時代の教育を見通した教育カリキュラムを検討・試行する。(①)

ウ 「自律」「誠実」「努力」の生活信条踏まえて生徒の主体性を育成し、個性を伸ばす諸活動を展開するとともに、その成果を地域に向けて発信する。(①)

エ 授業や行事等を、健康で安全・安心に取り組むことができる教育環境を整備する。(②)

オ 新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導・運営体制の構築に向けた検討をする。(②)

カ 英語教育、国際交流事業等を通して生徒の国際感覚・異文化理解を深化する。(③)

キ 関連事業への参画や関係機関等との連携・協働を通じて、生徒の異文化理解・多文化共生意識を高める。(③)

2 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	生徒の「主体的・対話的な深い学び」と「基礎学力向上」につながる学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・測定ツール・外部模試等を活用して生徒の学習状況を把握し、それに基づいた学習指導法の改善を図る。 ・各教科の授業改善への取組や校内外の研修の成果を外部に向けて発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業や家庭学習で学力・技能が向上したと回答する生徒93%以上 ・授業の中で、自分の考えをまとめたり、周囲と共有したりする機会が多いと回答する生徒90%以上 	教務課 研修課 各教科
	3年間を見通した系統的・効果的な進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ・有用な進路情報等の収集と時宜にあった生徒への提供により、生徒の自己理解と進路意識を深める。 ・系統的に課外授業や外部模試等を設定・実践して生徒の進路実現のための学力養成を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校は生徒や保護者が必要としている進路情報を十分提供していると回答する保護者90%以上 ・1年生で志望分野が決定した生徒95%以上、2年生で第1志望先が決定した生徒90%以上 	進路課 各学年 各教科
イ	新しい時代の教育を見通した教育カリキュラムの検討・試行	<ul style="list-style-type: none"> ・教育カリキュラム研究委員会等を中心に、「総合的な探究の時間」等教育活動全般の在り方を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「総合的な探究の時間」改訂案の提示 ・新学習指導要領に基づく教育課程の編成 	各分掌 各教科 教育研究委
ウ	校内規則及び社会規範の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ・個別面談、生活点検、自転車点検等を通じて生徒への初期指導を徹底する。 ・法令遵守の気持ちを高める啓発活動を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校則等を守り、高校生らしい服装・行動をしていると回答する生徒95%以上 ・自転車通学生徒のTSマーク貼付率100% 	生徒課 各学年
	各種教育活動を通じた生徒	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事、生徒会活動、及 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事や部活動等に生 	管理職

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
	の主体性・自尊心の涵養と個性の伸長	<ul style="list-style-type: none"> び部活動等を通じてリーダーを育成する。 ・読書啓発活動を充実して生徒の読書量を高める。 ・外郭団体等と連携して外部人材の活用を充実し、部活動の活性化を支援する。 ・情報ツールを活用して様々な情報を発信し、外部に本校の教育を周知する。 	<ul style="list-style-type: none"> 徒が主体的に取り組んでいると答える教職員及び生徒 90%以上 ・1・2年生の年間読書数平均7冊以上 ・各部活動における継続的な県大会出場 ・本校の教育活動がよくわかると回答する来校者及び外部評価者 90%以上 	教務課 生徒課 総務課 図書課 情報課 事務部
エ	生徒の心身の健康を維持する指導及び支援体制作り	<ul style="list-style-type: none"> ・検診等を通じて生徒の健康状態を把握し、必要な指導を行う。 ・困難を抱える生徒への支援体制の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・受診が必要な生徒の治療率 85%以上 ・校内に自分の悩みや不安を話す人や機会・場所があると答える生徒 85%以上 	生徒課 保健課
	安全・安心な教育環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に校内を点検し、校内美化の徹底を図る。 ・生徒・教職員の安全・安心につながる訓練や研修会等を計画的に開催する。 ・生徒防災委員会を活用して防災教育の充実を図る。 ・施設・設備の不具合に迅速に対応する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内の清掃点検において全チェック箇所が良好な状態になっている。 ・訓練や研修会等によって安全・安心に対する意識が高められたと答える生徒・教職員 90%以上 ・施設・設備の事故0件 	保健課 総務課 研修課 情報課 事務部
オ	新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導・運営体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・各分掌及び各学年で業務を見直し、非効率・非合理的な業務は改善・縮減する。 ・各自が週1回設定する定時退庁日を順守する。 ・部活動の在り方を検討するとともに、ガイドラインに基づく活動を実践する。 ・持続可能な運営体制構築のため、本校の魅力を積極的にHP等で発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各分掌、各学年、事務部の業務改善・縮減1件以上 ・定時退庁日を意識した勤務ができていると回答する教職員 90%以上 ・部活動ガイドラインを意識した活動が実践できたと回答する教員 95%以上 ・HPトップページの改良と更新回数の増加。 	管理職 各分掌 各学年 事務部 部活検討委
カ	英語教育・国際交流事業等を通じた生徒の国際感覚・異文化理解の深化	<ul style="list-style-type: none"> ・県事業等の活用や関係機関等との連携により、英国姉妹校交流や英語学科語学研修など学校主催の国際交流・異文化理解事業の拡充を図る。 ・英語の外部検定試験等の積極的な活用を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国際交流事業が国際感覚の醸成に役立ったと回答する生徒 90%以上 ・英語学科の生徒が卒業時までに英語検定2級以上取得する割合 90%以上 ・普通科2年生のGTECにおける平均得点率 67%以上 	研修課 英語学科 英語科
キ	参画と連携・協働による生徒の異文化理解・多文化共生意識の高揚	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の小学校や南米系外国人学校等との交流・連携事業の充実を図る。 ・他団体等が主催する国際交流・異文化理解事業への生徒の参加を積極的に働き掛ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な交流・連携事業への参加により異文化理解が深まったと回答する生徒 95%以上 ・国際交流・異文化理解・多文化共生事業等への参加希望生徒延べ250人以上 	研修課 英語学科